



甲府市立伊勢小学校  
校長室：小田切 利幸  
〒400-0856  
甲府市伊勢二丁目16-1  
<http://ise-e.kofu-ymn.ed.jp/>

本年度は、理科も含めての全国学力・学習状況調査の実施となりました。  
全国平均等と比較検証、分析を行い、児童の学力把握に努め、今後の指導に生かすことをねらいとして次のようにまとめました。この分析結果は本校のホームページにも掲載いたします。なお、調査に参加した6年生の保護者には、個別懇談の折りに個人票をもとに課題等についてお知らせいたします。

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果概要について

甲府市立伊勢小学校

### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査の内容

#### (1) 教科に関する調査（国語，算数，理科）

出題範囲は、小学校第5学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

#### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査

### 3 本校の結果概要

#### (1) 教科に関する調査（国語，算数，理科）

国語，算数，理科のいずれも全国平均とほぼ同程度であり，大きな差異は見られませんでした。さらに，各設問の平均正答率を比較すると，国語よりも算数，理科において正答率が全国平均を上回るものが多い結果となりました。

【国語】

○ 学習の定着や活用状況が良好と考えられる設問（平均正答率が高かった問題）

問題番号	問題の概要	出題の趣旨
2一	「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを選択する	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える。
3四	(一)から(二)に書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する	漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く

○ 課題が見られた設問（平均正答率が低かった問題）

問題番号	問題の概要	出題の趣旨
2二	物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の <input type="text" value="A"/> に入る内容を書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像する
2三	【山村さんの文章】の <input type="text" value="B"/> に入る内容として適切なものを選択する	表現の効果を考える
3二	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける
3三ア	【文章2】の中の一部アを、漢字を使って書き直す（ <u>ろくが</u> ）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う

< 教科における主な改善点 >

○C読むこと 精査・解釈（文学的な文章）についての指導の充実。

低学年…場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。

中学年…登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。

高学年…人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。

○B書くこと「共有」についての指導の充実。

低学年…文章に対する意見を伝え合い、自分の文章の内容や表現の良いところを見付けること。

中学年…書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分のよいところを見付けること。

高学年…文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。

※系統性を意識しながら指導を積み重ねていくことが大切。

○学校の教育活動全体において読書の指導を充実させていく。

○様々な教科や場面で、お互いに文章を読み合い、よいところを伝え合う活動を多く取り入れていく。

【算数】

○ 学習の定着や活用状況が良好と考えられる設問（平均正答率が高かった問題）

問題番号	問題の概要	出題の趣旨
1(1)	$1050 \times 4$ を計算する	被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすること
1(2)	14と21の最小公倍数を求める	二つの数の最小公倍数を求めることができる
3(1)	表のしりとり欄に入る数を求める式と答えを書く	表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる

4 (3)	長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く	図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している
-------	----------------------------	--

○ 課題が見られた設問（平均正答率が低かった問題）

問題番号	問題の概要	出題の趣旨
2 (3)	果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ	示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している

< 教科における主な改善点 >

○割合や百分率の意味を理解し、場面から数量の関係を捉えて式に表す指導の充実

- ・場面を数直線に表し、数直線から立式できるよう繰り返し指導する。
- ・小数や整数で表した割合と、百分率を対応させた数直線を活用し0.01を1%ということや百分率の意味を丁寧に指導していく。

○日常生活とのつながりを意識した指導の充実

- ・授業の中に、日常生活の中から百分率が用いられる事象を探す活動を取り入れる。
- ・授業中だけでなく、日常生活の中で、機会あるごとに学習内容について振り返る。

【理科】

○ 学習の定着や活用状況が良好と考えられる設問（平均正答率が高かった問題）

問題番号	問題の概要	出題の趣旨
2 (2)	水 50mL をはかり取る際に、メスシリンダーに入れた水の量を正しく読み取り、さらにスポイトで加える水の量を選ぶ	メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けている

○ 課題が見られた設問（平均正答率が低かった問題）

問題番号	問題の概要	出題の趣旨
2 (1)	一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く	メスシリンダーという器具を理解している

< 教科における主な改善点 >

- ・実験器具の名称を含む理科用語については、知識を定着できるよう授業の中で繰り返し確認していく。
- ・実験器具については、使い方だけでなく、用途についても説明する。  
(なぜ、50mLの水を測りとるのにビーカーではなくメスシリンダーを使うのかなど)
- ・実験を計画する段階でどの器具を使えばよいかを見童自身に考えさせるようにしていく。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童質問紙より） ( )内は全国平均。

○生活習慣に関わって

[自己評価が全国平均より大きく高かった項目]

- (12) 人が困っているときは、進んで助けていますか。97.3% (88.9%)
- (15) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。100.0% (95.1%)
- (18) 友達と協力するのは楽しいと思いますか。100.0% (94.0%)

[自己評価が全国平均より大きく低かった項目]

- (19) 家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか。

**72.2%** (88.4%) 「友達や家族、先生などに聞いている」

(21) 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

(塾など含む)**27.7%** (59.5%) 「1時間以上」

(26) 読書は好きですか。**61.1%** (73.1%)

(12) (15) (18) より、人と関わり、役に立ちたいと考えている児童が多くいると思われる。

(19) (21) (26) より、学習面への積極性は他の項目と比べて低い傾向にある。

○学習に対する関心・意欲・態度に関わって

(32) 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。

**80.5%** (58.2%)

(33) 学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。**61.1%** (43.9%)

(34) 学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。**33.4%** (22.5%)

(36) 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

**100.0%** (94.4%)

(40) 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。**55.6%** (72.2%)

(43) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。**63.9%** (80.1%)

(44) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。**58.4%** (78.2%)

(51) 国語の授業の内容はよく分かりますか。**72.3%** (84.0%)

(61) 理科の勉強は好きですか。**63.9%** (77.7%)

(67) 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。**63.9%** (78.0%)

(68) 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか。

**72.3%** (84.9%)

(32) (33) (34) (36) より、昨年度から一人一台端末を積極的に活用してきた成果が現れている。今後は活用場を広げたり、一つの思考ツールとしても活用の幅を広げ指導の充実を図っていきたい。

国語、算数、理科の学習に対しては、将来の役に立つとは感じているが、「好き」だと回答している児童は多くない。特に考えを持ったり広げたり伝えたりすることについて、全国平均と比べると肯定的意見は多くない。日頃の取り組みで考えを広げたり伝えたりする機会を十分に確保し、考えを深める良さを感じる事が大切になるので、「主体的、対話的で深い学び」を充実させるためにも継続して取り組んでいく。

伊勢小学校では、「夢を持ち続けながら進んで学ぶ、心豊かでたくましい子供の育成」を目指し、生徒指導と学習指導の充実を両輪に、全職員が一丸となって子供たちの教育に日々取り組んでおります。また、子供たちが安心して学校生活を送れるように支援するとともに、日頃からの「主体的、対話的で深い学び」への授業改善やGIGAスクール構想での一人一台端末の活用などに取り組んでおります。

「全国学力・学習状況調査の報告」は児童理解をより深めるための材料の一つです。結果を全ての教職員が共通理解する中で、今後も分析結果を踏まえ参考としながら、さらに授業改善に努めて参ります。